

自治会加入のお願い

自治会組織の名称は、**小田原市 久野坂下自治会** です。

自治会とは、一定の区域を単位として、その地域に住む住民同士が助け合い協力しあって、住みよい地域社会をつくっていかうと、自主的に組織された団体です。

地域内での防犯活動・防災活動など、住みやすく安心・安全な地域づくりをめざす活動や、お祭りや文化祭などのレクリエーション活動などを行っています。

小田原市久野坂下自治会は、加入自治会員が負担する会費などによって集めた自治会費を毎年、総会で久野坂下の為の事業の承認を得て使用しております。久野坂下自治会員世帯を区分けし、組単位によって構成されております。2023年4月現在43の組で構成されております。

自治会は、その時々で発生した地域課題の解決に取り組みながら、地域の将来やニーズを考慮した地道な活動を行ってきております。

さらに、安心・安全な住みよいまちづくりが最も重要な課題としてあげられる昨今では、日ごろから、犯罪に対する目配りや、災害など不測の事態にも対応する最も身近なよりどころとして、地域の人とのつながりを基盤とする自治会の役割はますます重要になっています。

皆さんも自治会に加入して、「**すみよいまち**」をめざしませんか。自治会への加入を希望される際は、自治会役員もしくはお住いの組長さんにお知らせください。○

お住まいは_____組です。組長さんは_____さんです。

自治会活動内容

親睦活動

地域に住む人々の連携と一体化を図るため、納涼大会(8月)・神山神社祭典[神輿と山車の巡業(10月)]・運動会・花見まつり・公民館祭り・文化祭・坂下イルミネーションなどさまざまなレクリエーション活動を行っています。

防災活動

阪神淡路大震災の救助活動で一番威力を発揮したのは、ご近所のつながりでした。地震などの災害に備え、自主防災組織をつくり、一時避難所の設置・防災用品の整備備蓄・独り住まいの高齢者や要介助者等避難の要援護者把握・防災訓練の実施を行っております。

福祉活動

共同募金などの社会福祉活動に協力しています。地域民生委員の活動や公民館活動により、高齢者の交流・敬老会行事等行っています。

環境美化活動

自治会員のご協力を得て地域での一斉清掃活動を行い、きれいなまちづくりに努めています。環境整備委員会を設置し、環境パトロールを実施、道路や防犯灯等の問題点を抽出し市関係機関へ調整を行っています。住宅が増えた地区へ新たにごみステーションの設置を市へ依頼。公園整備点検や清掃などの活動を行っています。

広報活動

自治会内の大切なお知らせや訃報等の回覧配布

毎月、県や市の行政からの広報誌などを各戸へ配布します。

以上

自治会運営には費用が掛かります

自治会員の方々からは、

自治会費 1か月500円（一世帯）

主な用途は、1. 久野地区自治会連合会分担金

2. 久野地区消防第11分団後援会費

3. 久野地区体育振興会分担金

4. 久野坂下公民館運営助成金

5. 久野坂下公民館再建準備基金の積立金 [150円/月含]

自主防災費 年額300円（一世帯）

主な用途は、1. 自主防災訓練実施に係る費用

2. 自主防災備品の購入・備蓄

地区内行事運営の拠出金の協力依頼 [その都度お願いをします]

主な協力金依頼 1. 納涼大会運営費の拠出金

2. 神山神社祭典に伴い地区内で神輿と山車の巡航実施
運営費の拠出金

各種募金の協力お願い [任意です]

主な募金 1. 小田原市社会福祉協議会費

2. 赤十字募金（5月）

3. 赤い羽根共同募金（12月）

※集金は、組長がお伺いします。また、会計報告は年度末に書面にて開示します。

久野坂下自治会への加入をお待ちしております。

久野坂下自治会加入申込書

久野坂下自治会長宛

所属組 組

本人記入欄 (赤枠内への記入をお願いします)

加入申込日	年 月 日	
加入者氏名 (世帯主)	(フリガナ)	年齢
		歳
同居人数 ※1 (世帯主含)	世帯主を含む同居人数をご記入ください	名
住 所 ※2	小田原市久野	
連絡先電話番号		
備 考 (伝えておきたい事項等 あれば記入して下さい)		

※1 同居人数の確認は災害時における避難人数等の把握に必要です。

※2 マンション・アパートの場合は建物名と部屋番号を記入ください。

◎申込書は所属組長もしくは、自治会長・自治会副会長に提出願います。

☆申込書は、個人情報保護を厳重にし、自治会三役が保管管理します。

自治会記入欄

	月/日	確認者サイン		月/日	保管者サイン
申込書確認 申込書を受けた者	/		申込書保管	/	
確認事項					